

学会告知板

第 256 回 O.C.C. ご案内

日 時 ●2025 年 3 月 8 日(土) 14:00~17:00

場 所 ●大阪大学中之島センター 10 階 メモリアルホール
〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島 4 丁目 3 番 53 号

テーマ ●「緑内障診療 2025(仮)」

※話題提供者は 2024 年 12 月 31 日までに下記へ FAX にてお申し込みください。

連絡先 ●大阪大学大学院医学系研究科眼科学教室

Tel: 06-6879-3456 / Fax: 06-6879-3458

学会告知板

第 29 回 公益社団法人 日本網膜色素変性症協会(JRPS)研究助成のご案内

公益社団法人 日本網膜色素変性症協会 (Japanese Retinitis Pigmentosa Society, JRPS) では、網膜色素変性とその類縁疾患の治療法開発のための研究に対し助成を行っております。第 29 回の応募要項は以下のとおりです。

対 象 ● 網膜色素変性、網脈絡膜変性、ロービジョンに関する研究を行う研究者、または診療、教育、研究機関

研究期間 ● 2025 年 4 月から 2026 年 3 月までに完結見込みの研究

助成金額 ● 100 万円 2 名 (うち 1 名はライオンズ賞として、40 歳以下の若手研究者を対象とします)

応募方法 ● ① JRPS 研究助成申請 受付専用サイトよりご応募ください。

② JRPS 研究助成申請 受付専用サイトでは、指定フォームに、研究代表者名(フリガナ、生年月日)、研究機関名、住所、電話番号、e-mail アドレス、研究題目、研究実施計画(1,200 字以内)、研究計画と直接関係する業績目録を記入(直接入力)してください。

③ 関係する論文の別冊等、フォームに直接入力する以外の提出する資料は、すべて PDF ファイルに変換したうえで、ファイルを応募サイトよりアップロードして提出してください。

締め切り ● 2025 年 2 月 28 日

選考方法 ● JRPS 学術審査委員の審査に基づいて理事会で決定し、結果は 2025 年 6 月中に研究代表者にご連絡します。

学術審査委員長：三重大学大学院医学系研究科 臨床医学系講座 眼科学 教授 近藤峰生

お問い合わせ ● 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-4-10 加島ビル 3 階

公益社団法人 日本網膜色素変性症協会 事務局

Tel : 03-6261-0321 / Fax : 03-6268-9308 / e-mail : info@jrps.org

学会告知板

第 28 回 公益社団法人 日本網膜色素変性症協会(JRPS)研究助成審査結果のご報告

第 28 回 JRPS 研究助成は、JRPS 学術審査委員の厳正な審査により、次の 3 件に決定いたしました(敬称略)。

[200 万円]

後藤 聡(大阪大学眼科)

「網膜色素上皮を介した網膜変性の病態解明」

[100 万円]

溝渕 圭(東京慈恵会医科大学眼科)

「ABCA4 関連網膜ジストロフィに対する遺伝子治療を見据えた全国コホート解析：疾患進行の関連因子同定の検討」

[ライオンズ賞 100 万円]

平形寿彬(順天堂大学眼科学講座)

「網膜色素変性患者における読書能力と Functional Vision Score の関連についての検討」

フォーサム 2025 横浜

会 期 ● 2025 年 7 月 11 日(金)～13 日(日)

第 61 回日本眼感染症学会	2025 年 7 月 11 日(金)～12 日(土)
第 58 回日本眼炎症学会	2025 年 7 月 11 日(金)～12 日(土)
第 67 回日本コンタクトレンズ学会総会	2025 年 7 月 12 日(土)～13 日(日)
第 13 回日本涙道・涙液学会総会	2025 年 7 月 12 日(土)～13 日(日)

会 場 ● パシフィコ横浜 会議センター

〒 220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1 丁目 1

会 長 ● 第 61 回日本眼感染症学会

会 長：戸所大輔(群馬大学医学部眼科学教室)

第 58 回日本眼炎症学会

会 長：堀 純子(日本医科大学多摩永山病院眼科)

第 67 回日本コンタクトレンズ学会総会

会 長：柳井亮二(徳島大学大学院医歯薬学研究部 眼科学分野)

第 13 回日本涙道・涙液学会総会

会 長：松村 望(神奈川県立こども医療センター眼科)

主 催 ● 第 61 回日本眼感染症学会：群馬大学医学部眼科学教室

第 58 回日本眼炎症学会：日本医科大学多摩永山病院眼科

第 67 回日本コンタクトレンズ学会総会：徳島大学大学院医歯薬学研究部 眼科学分野

第 13 回日本涙道・涙液学会総会：神奈川県立こども医療センター眼科

プログラム(予定) ● 【第 61 回日本眼感染症学会】

特別講演, シンポジウム, 学術奨励賞受賞講演, 一般講演, JAOI 塗抹検鏡スキルトランスファー

【第 58 回日本眼炎症学会】

特別講演, シンポジウム, 学術奨励賞受賞講演, 一般講演

【第 67 回日本コンタクトレンズ学会総会】

特別講演, ECLA 招待講演, シンポジウム, コンタクトレンズ講習会, オルソケラトロジー講習会(オンデマンドのみ), 学術奨励賞受賞講演, 一般講演

【第 13 回日本涙道・涙液学会総会】

特別講演, シンポジウム 1, シンポジウム 2, 学術奨励賞受賞講演, 一般講演, JSLT 涙道スキルトランスファー

【合同プログラム】

3 学会(第 61 回日本眼感染症学会/第 58 回日本眼炎症学会/第 67 回日本コンタクトレンズ学会総会)合同シンポジウム「Microbiome and ocular diseases」

学会ホームページ ● <https://convention.jtbcom.co.jp/fs2025/>

演題募集 ● 一般演題募集：2025 年 1 月 15 日(水)～3 月 5 日(水)

※詳細は、学会ホームページの「演題登録」ページにてご案内いたします。

参加登録受付 ● 事前参加登録：2025 年 1 月 15 日(水)～5 月 26 日(月)

※詳細は、学会ホームページの「参加登録」ページにてご案内いたします。

運営事務局 ● 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン

事業共創部 コンベンション第二事業局内

〒 541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町 2-1-25 JTB ビル 8 階

Tel：06-4964-8869 / Fax：06-4964-8804 / e-mail：fs2025@jtbcom.co.jp

学会告知板

第 182 回九州大学眼科研究会のご案内

日 時 ●2025 年 2 月 15 日(土) 13:30 開会予定

場 所 ●九州大学医学部百年講堂大ホール

教育講演 ●内尾英一(福岡大学医学部眼科学教室, 教授)

坂本泰二(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 眼科学分野, 教授)

一般演題募集 ●演題締切: 2024 年 12 月 13 日(金)必着

演題名・氏名(連名の場合は演者に○)・所属・所在地をご記入ください。

○こちらで準備した PC(プレゼンテーション 1 面)で発表していただきます。

○会場で使用する PC の OS は Windows 11 で、データ形式は、バージョン
PowerPoint 2007 以降となります。

○講演をされる方は前日迄に、ご案内する URL(Proself)にアクセスしスライドをアップロードしてください。

○フォントは OS に標準装備されているものでお願いいたします。

講演時間: 7 分

申込先 ●〒 812-8582 福岡県福岡市東区馬出 3 丁目 1 番 1 号

九州大学眼科学教室

医局長 塩瀬聡美

Tel: 092-642-5648 / Fax: 092-642-5663 / e-mail: oculus@med.kyushu-u.ac.jp

※研究会は日眼生涯教育事業(1 日 1.5 単位で申請中)に認定されております。

学会告知板

第 58 回眼科臨床病理組織研究会 (第 95 回九州眼科学会 内)

日 時 ●2025 年 5 月 31 日(土)予定

会 場 ●アクロス福岡

〒 810-0001 福岡県福岡市中央区天神 1-1-1

演題募集 ●「第 58 回眼科臨床病理組織研究会」は、「第 95 回九州眼科学会」内のセッションとして開催いたします。眼腫瘍など病理組織の関連した演題を多数お寄せください。

なお、参加にあたりましては、九州眼科学会への参加登録が必要となります。

演題登録・参加登録は「第 95 回九州眼科学会」の HP よりお願いいたします。

演題登録期間 ●第 95 回九州眼科学会の演題募集の締め切り日

演題採用決定後、発表症例の標本(H-E 染色)を事務局にお送りいただきます。

詳細につきましては、日本眼病理研究会事務局にお問い合わせ下さい。

連絡先 ●日本眼病理研究会事務局

〒 812-8582 福岡県福岡市東区馬出 3-1-1

九州大学眼科

担当 吉川: yossykp@mac.com

沖崎: okizaki.fumie.435@m.kyushu-u.ac.jp

Tel: 092-642-5648 / Fax: 092-642-5663

公益信託 須田記念緑内障治療研究奨励基金
2024 年度 募集要項

公益信託 須田記念緑内障治療研究奨励基金は、熊本大学において眼科学の指導研究，特に緑内障の研究・治療に永年尽くされました故須田経宇名誉教授により設立されました。緑内障またはその治療に関する優れた研究を助成するため，下記要項により助成金交付申請を募集いたします。

1. 助成対象

緑内障に関する研究全般を対象とし，申請された研究課題に助成します。

2. 応募資格

- ① 日本眼科学会会員である者
- ② 申請時において年齢 45 歳以下の者
- ③ 緑内障を専攻し，臨床・研究を継続する意志のある者
- ④ 緑内障治療研究に実績のある者
- ⑤ 日本国籍を有する者
- ⑥ 自薦・他薦は問わない

3. 選考基準

- ① 研究計画が優れたものであり，かつ研究者の過去の実績等に照らし優れた成果が期待できること。
- ② 申請目的が緑内障治療研究に関するものであり，その資金使途が明確であること。
- ③ 申請内容に照らして，助成金の使途予定が適正であること。
- ④ 選考委員が申請者の遂行能力の高さを評価できること。

4. 助成件数および金額

1～3 件 総額 300 万円

(1 件あたり 100 万円を標準とします。)

- ・助成金を大学等の委任経理における間接経費に充当することはできません。
- ・学会参加費および旅費への支出は助成金額の 2 割以内に止めるものとします。

5. 応募方法

当基金所定の申請書に必要事項を記入し，下記宛先へご提出ください。申請書は下記照会先記載の URL からダウンロードしてください。なお，応募書類は返却いたしませんのでご了承ください。

6. 応募期間

2024 年 11 月 1 日(金)～2024 年 12 月 24 日(火)(当日消印有効)

7. 選考方法および通知

募集締切後に開催する当基金運営委員会において選考決定のうえ，2025 年 3 月上旬に申請者に書面でその結果をお知らせします。

なお，助成対象者の氏名・所属等につきましては，公表させていただく場合がありますので，あらかじめご了承ください。

助成金は，指定の銀行口座等(本人名義限定)へお振り込みします。

8. 助成金使用報告

助成対象の研究終了後，2025 年 12 月末までに次の書類を受託者宛に提出していただきます。

- ① 助成金使用報告書(領収証等の確証を添付ください。)
- ② 研究結果概要報告書(A4 縦判用紙 3 枚程度，様式自由)

学会告知板**【申請書の提出先・照会先】**

＜郵送先＞〒 105-8574 東京都港区芝 3-33-1

三井住友信託銀行 個人資産受託業務部 公益信託チーム

須田記念緑内障治療研究奨励基金 申請口

＜電子メール宛先＞申請書受付専用メールアドレス「kouekidenshi@smtb.jp」

※申請書受付後、メールにてご連絡いたします。1週間経っても連絡がない場合は、
お手数ですが下記電話番号宛お問い合わせください。提出に際し下記【電子メール
申請における留意事項】を確認のうえご提出ください。

＜電話番号＞03-5232-8910(受付：平日 9 時～17 時)

＜申請書掲載 URL＞<https://www.smtb.jp/personal/entrustment/public/example/list>

HP 検索：

【電子メール申請における留意事項】

- ・電子メール宛先は、申請書受付専用メールアドレス「kouekidenshi@smtb.jp」宛、ご送信ください。
- ・メールの件名冒頭は必ず、【須田緑内障基金・〇〇〇(←申請者名)】と表記ください。
(この表記がない場合、受付できない場合がありますのでご注意ください。)
- ・書式は WORD, EXCEL, PDF 形式で、メールに添付してください。なお、郵便との併用は受付できません。
- ・電子メール 1 本あたりの容量は、必ず 20 MB 以下としてください。容量が 20 MB を超える場合は、
メールを分割してご送信いただく等のご対応をお願いします。
- ・セキュリティ管理上、パブリックのファイル転送サービスはご使用いただけませんのでご注意ください。
- ・申請書受付後、メールにてご連絡いたします。1週間経っても連絡がない場合は、お手数ですが上記照
会先へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

(※)公益信託とは

個人の方が公益活動のために財産を提供しようという場合や、法人が利益の一部を社会に還元しようという場
合などに、信託銀行に財産を信託し、信託銀行は公益信託契約で定められた公益目的に従ってその財産を管
理・運用し、公益活動を行う制度です。

**公益信託 須田記念緑内障治療研究奨励基金
令和 5 年度(第 37 期)助成対象者のご報告**

令和 5 年度は、多くの応募者のなかから厳正なる審査の結果、下記の方々に、研究助成金として各 100 万円
を給付し、「第 35 回日本緑内障学会」で報告いたしました。

1. 盛 崇太郎(神戸大学眼科)
緑内障治療の最適化を目指した線維柱帯機能の可視化
2. 星 崇仁(筑波大学医学医療系眼科)
硝子体注射可能な緑内障治療薬徐放マイクロスフェアの開発
3. 富田 遼(名古屋大学医学部附属病院眼科)
緑内障における機能・構造関係の網膜動脈角度による補正モデルの構築

公益信託 須田記念緑内障治療研究奨励基金

運営委員長 新家 眞
信託管理人 井上立州

第 129 回日本眼科学会総会

会 期 ●2025 年 4 月 17 日(木)～4 月 20 日(日)

会 場 ●東京国際フォーラム

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-5-1

学会長 ●福地健郎(新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野 教授)

副学会長 ●吉澤豊久(新潟県眼科医会 会長)

プログラム委員長 ●石田 晋(北海道大学大学院医学研究院眼科学教室 教授)

テーマ ●科学は美しい Science has great beauty

主 催 ●公益財団法人日本眼科学会

主管校 ●新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野

〒951-8510 新潟県新潟市中央区旭町通 1-757

Tel : 025-227-2296 / Fax : 025-227-0785

事務局長 : 赤木忠道

演題募集 ●演題募集は締め切りました。

参加登録 ●事前参加登録 : 2024 年 10 月 1 日(火)～2025 年 2 月 21 日(金)(予定)

後期参加登録 : 2025 年 2 月下旬～2025 年 6 月下旬(予定)

※今回の事前参加登録は、オンラインクレジットカード決済またはコンビニ決済での
オンライン登録のみです。郵便振替登録は行いませんのでご注意ください。

プログラム ●特別講演 1 : 外園千恵(京都府立医科大学)

特別講演 2 : 雑賀司珠也(和歌山県立医科大学)

評議員指名講演 : 「ライフスタイルと眼疾患」

中尾新太郎(順天堂大学), 谷戸正樹(島根大学), 高村佳弘(福井大学)

招待講演 1 : Anand Swaroop (National Eye Institute)

招待講演 2 : Pradeep Y. Ramulu (Johns Hopkins University School of Medicine)

シンポジウム : <総会長枠>

科学は美しい 1・感覚のバイオイメーjing最前線 : さまざまな生命現象を可視化する

科学は美しい 2・レジェンドと語る : 前眼部・角膜編

科学は美しい 3・レジェンドと語る : 網膜・硝子体編

科学は美しい 4・レジェンドと語る : 緑内障編

※その他、プログラム委員会枠, 基礎研究セミナー, 戦略企画会議第四委員会枠, 戦略企画会議第五委員会枠, 社会保険会議枠を予定しております。

教育セミナー, International Symposium, サブスペシャリティサンデー, スキルトラ

ンスファー, The International Crosstalk Symposium by Young Ophthalmologists,

一般講演, 学術展示, 専門医制度講習会, オルソケラトロジー講習会, 屈折矯正手術

講習会, 共催セミナー(モーニング, ランチョン, イブニング, フェアウェル), (一

社)日本眼科医療機器協会併設機器展示, 市民公開講座

※詳細は随時ホームページにて公開させていただきます。

ホームページ ●<https://www.congre.co.jp/129jos/index.html>

運営事務局 ●〒103-8276 東京都中央区日本橋 3-10-5 オンワードパークビルディング

株式会社コングレ

Tel : 03-3510-3701 / Fax : 03-3510-3702 / e-mail : 129jos@congre.co.jp

お問い合わせ等ありましたら、運営事務局までお問い合わせください。

学会告知板

第14回日本視野画像学会学術集会

会 期 ●2025 年 5 月 31 日(土)・6 月 1 日(日)

会 場 ●ソニックシティ

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目7-5

会 長 ●篠田 啓(埼玉医科大学医学部 眼科)

プログラム(予定) ●JIPS レクチャー「網膜を診る－網膜細胞機能・視野・画像－」

座長：中野 匡(東京慈恵会医科大学)

シンポジウム1「視野のすすめ」

座長：岩瀬愛子(たじみ岩瀬眼科)，庄司拓平(小江戸眼科内科／埼玉医科大学)

シンポジウム2「画像のすすめ」

座長：楠原仙太郎(神戸大学)，石川 聖(埼玉医科大学)

シンポジウム3「視野と low vision」

座長：仲泊 聡(公益社団法人 NEXT VISION／東京慈恵医大)，植木麻理(永田眼科)

特別セッション「若手研究者による最近の視野画像研究」

座長：大久保真司(おおくぼ眼科クリニック)，結城賢弥(名古屋大学)

JIPS コーチングセミナー「高次脳機能障害へのアプローチ～病態から検査・診察まで～」

座長：中野 匡(東京慈恵会医科大学)，松井孝子(国立障害者リハビリテーションセンター病院)

ランチョンセミナー，モーニングセミナー，イブニングセミナー，共催シンポジウム，一般口演，器械展示・書籍展示

※「全員懇親会」の実施も予定しております。

※詳細は，学会ホームページ(<https://convention.jtbcom.co.jp/14jips/>)にて後日ご案内いたします。

演題募集 ●一般演題募集：2024 年 11 月 20 日(水)～2025 年 2 月 12 日(水)(予定)

※詳細は，学会ホームページ(<https://convention.jtbcom.co.jp/14jips/>)の「演題募集」ページにてご案内いたします。

参加登録 ●事前参加登録：2025 年 1 月 15 日(水)～2025 年 3 月 31 日(月)(予定)

※詳細は，学会ホームページ(<https://convention.jtbcom.co.jp/14jips/>)の「参加登録」ページにてご案内いたします。

運営事務局 ●株式会社 JTB コミュニケーションデザイン

事業共創部 コンベンション第二事業局内

〒105-8335 東京都港区芝 3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング 12 階

e-mail：14jips@jtbcom.co.jp / HP：https://convention.jtbcom.co.jp/14jips/



公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団
2024 年度「研究助成」応募のご案内

財団法人 高齢者眼疾患研究財団は 1993 年に、高齢者の視力障害をきたす疾患に関する調査・研究・国際協力等を行い、国民の健康の増進および眼科学の進歩に寄与することを目的に設立しました。

その後 2013 年に、内閣総理大臣の認定を受け、公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団となりました。

当財団は活動の一環として、「悪性糖尿病網膜症等高齢者の視力障害をきたす疾患の予防および治療に関する調査研究」に対し下記の要件にて研究助成を実施しております。

対 象 ●悪性糖尿病網膜症等高齢者の視力障害をきたす疾患の予防および治療に関する調査研究(個人研究、共同研究可)

資 格 ●応募者の職務は常勤が望ましい

研究期間 ●2025 年 4 月から 2026 年 3 月までに完結見込みの研究

助成金額 ●1 件 100 万円

締め切り ●2024 年 12 月 15 日 必着

応募方法 ●申請書等用紙は、返信用封筒(210 円切手貼付)を同封のうえ、本財団に請求すること
※申請書をデータで請求する場合、本財団ホームページ(www.rfeda.or.jp/)の研究助成事業よりダウンロードすること

応募書類請求先/送付先 ●公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団
〒 250-0042 神奈川県小田原市荻窪 1772 番地
佐伯眼科クリニック内 事務局：医師 佐藤貴子
TEL：0465-32-7526
FAX：0465-32-1177

選考方法 ●高齢者眼疾患研究財団助成選考委員会の審査に基づいて理事会で決定する。結果は 2025 年 2 月末以降に、研究代表者に連絡する

助成金の交付 ●助成決定者に対し、2025 年 3 月以降に交付する

研究結果発表 ●研究終了 1 年以内に研究実績報告書を提出すること
※研究成果を学術雑誌に発表する際には、高齢者眼疾患研究財団の研究助成を受けていることを明示すること

その他 ●助成対象事業に係る収入および支出を明らかにした帳簿(証拠書類を含む)を備えること

公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団
〒 250-0042 神奈川県小田原市荻窪 1772 番地
TEL：0465-32-7526
FAX：0465-32-1177
ホームページ：www.rfeda.or.jp/
理事長 佐伯宏三

学会告知板

第22回近畿弱視斜視アフタヌーンセミナー案内 —弱視・斜視の基礎と最新情報シリーズ— 「弱視・斜視の基礎・臨床と最新情報—その7—」

期 日 ● 2025 年 2 月 15 日(土) 14:45~18:15

会 場 ● 千里ライフサイエンスセンター 山村雄一記念ライフホール
北大阪急行電鉄(地下鉄御堂筋線)千里中央駅 北改札口 1 分

講 演 ● 1. 軽度から中等度近視の後天共同性内斜視

稗田 牧(京都府立医科大学)

2. 「視覚はよみがえる—三次元のクオリアー—」から考える両眼視訓練

雲井弥生(淀川キリスト教病院)

3. クリニックでの上下斜視

木村亜紀子(やさしい目のクリニック)

4. “私はこう治療する”—会員による症例検討会(仮)

森本 壮(大阪大学)

5. ワークショップ: レチノスコピー

全メンバー(下記)

登録料 ● 医師 3,000 円, 非医師 1,000 円

主 催 ● 近畿弱視斜視研究会

(遠藤高生, 不二門 尚, 木村亜紀子, 雲井弥生, 初川嘉一, 稗田 牧, 三宅三平, 宮田 学, 森本 壮, 村木早苗, 増田明子, 野村耕治, 佐々本研二, 白井久美, 下條裕史, 杉山能子, 菅澤 淳, 近江正俊, 築留英之, 内海 隆, 横山 連)

参天製薬株式会社

事務局 ● 森本 壮(大阪大学眼科)

問い合わせ窓口 ● 加藤大貴(参天製薬株式会社)

Tel: 0120-310-106 / e-mail: daiki.kato@santen.com